

# 動物性たんぱく質に占める 魚介類の貢献度 2003-2005年(平均)

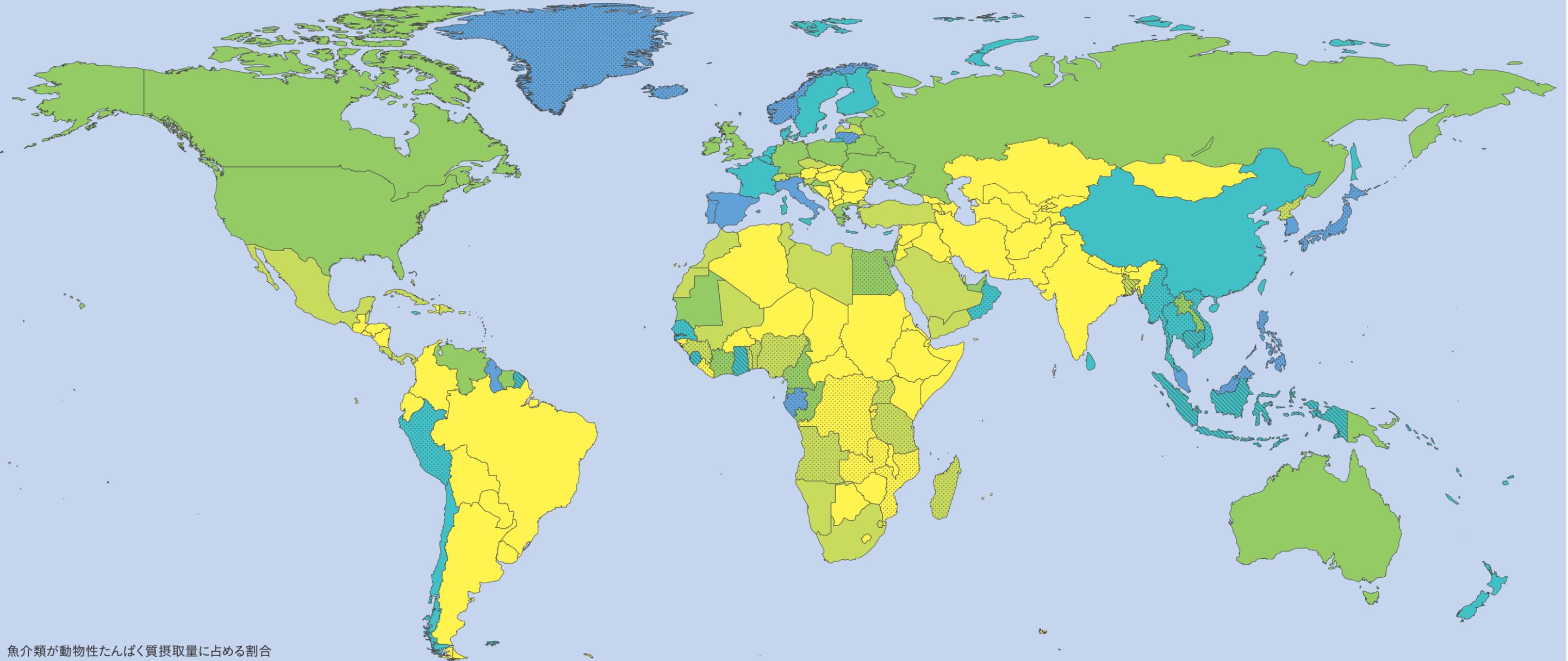
Contribution of fish to animal protein supply



漁業と養殖業により、2006年には約1億1,000万トンの食用魚介類が世界に供給されました。これは人口1人当たり16.7kg（原魚換算）に相当します。魚介類が動物性たんぱく質摂取量に占める割合を地域別にみると、北・中央アメリカが7.6%、ヨーロッパが11%、アフリカが19%、アジアが21%となっ

ています。一部の小さな島嶼開発途上国や、バングラデシュ、カンボジア、赤道ギニア、仏領ギアナ、ガンビア、ガーナ、インドネシア、シエラレオネでは、この割合は50%にのびます。低所得食料不足国（LIFDC）では、魚介類の1人当たり供給量は13.8kgと相対的に低いものの、動物性たんぱく質摂取量に対す

る割合は18.5%にのび、統計に十分に把握されていない小規模な自給的漁業の寄与を考慮に入れると、その貢献度はさらに高いと考えられます。



魚介類が動物性たんぱく質摂取量に占める割合

20-50% 50%以上

魚介類のたんぱく質摂取量 (1人1日当たり)

2g以下 2-4g 4-6g 6-10g 10g以上